

No. 10	港区水循環マスタープラン																																																																																	
<p>計画の概要</p>	<p>①計画名、策定年月：港区水循環マスタープラン、平成14年3月          ②対象流域または対象行政区界：東京都港区全域          ③策定の枠組み：策定主体 港区街づくり推進部都市計画課          検討主体 水環境マスタープラン策定検討委員会、          水環境マスタープラン策定委員会          検討期間 平成12年4月～平成14年1月</p> <p><b>水循環マスタープラン策定検討委員会委員名簿</b></p> <table border="0"> <tr> <td>委員長</td> <td>芝浦工業大学教授</td> <td>守田 優</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>新日本監査法人（株）三和総合研究所 副主任研究員</td> <td>水登 朱美</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>東京大学教授</td> <td>虫明 功臣</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>公募区民</td> <td>田中 耕治</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公募区民</td> <td>山下 倫範</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公募区民</td> <td>瀬川 浩司</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公募区民</td> <td>樋口 武</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境カウンセラー</td> <td>山田 愛美</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都都市計画局総合計画部都市整備室 水資源・建設副産物担当課長</td> <td>霜田 宜久</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都建設局河川部計画課長</td> <td>高橋 紀男（高橋 康夫）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都下水道局計画調整部計画課長</td> <td>黒住 光浩（小川 健一）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>港区立港南中学校長</td> <td>永井 洋子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>港区助役</td> <td>永尾 昇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>港区街づくり推進部長</td> <td>大木 進（本村 千代三）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>港区環境保全部長</td> <td>渋谷 典昭（武田 慎次）</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>港区街づくり推進部街づくり調整課長</td> <td>菅原 三彌（廣井 誠一郎）</td> </tr> </table> <p><b>水循環マスタープラン策定委員会委員名簿</b></p> <table border="0"> <tr> <td>委員長</td> <td>助 役</td> <td>永尾 昇</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>街づくり推進部長</td> <td>大木 進（本村 千代三）</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>環境保全部長</td> <td>渋谷 典昭（武田 慎次）</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>政策経営部 企画課長</td> <td>川畑 青史</td> </tr> <tr> <td></td> <td>政策経営部 施設課長</td> <td>廣井 誠一郎（久留宮 具 良）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>街づくり推進部 都市計画課長</td> <td>廣井 誠一郎（大木 進）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>街づくり推進部 道路公園課長</td> <td>渡邊 進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全部 環境課長</td> <td>宮川 修</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（環境対策課長）</td> <td>榎本 欣三</td> </tr> <tr> <td></td> <td>教育委員会事務局生涯学習推進課長</td> <td>小池 眞喜夫（由井 敏 参）</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>街づくり推進部 街づくり調整課長</td> <td>菅原 三彌（廣井 誠一郎）</td> </tr> </table>	委員長	芝浦工業大学教授	守田 優	副委員長	新日本監査法人（株）三和総合研究所 副主任研究員	水登 朱美	アドバイザー	東京大学教授	虫明 功臣	委員	公募区民	田中 耕治		公募区民	山下 倫範		公募区民	瀬川 浩司		公募区民	樋口 武		環境カウンセラー	山田 愛美		東京都都市計画局総合計画部都市整備室 水資源・建設副産物担当課長	霜田 宜久		東京都建設局河川部計画課長	高橋 紀男（高橋 康夫）		東京都下水道局計画調整部計画課長	黒住 光浩（小川 健一）		港区立港南中学校長	永井 洋子		港区助役	永尾 昇		港区街づくり推進部長	大木 進（本村 千代三）		港区環境保全部長	渋谷 典昭（武田 慎次）	事務局	港区街づくり推進部街づくり調整課長	菅原 三彌（廣井 誠一郎）	委員長	助 役	永尾 昇	副委員長	街づくり推進部長	大木 進（本村 千代三）	副委員長	環境保全部長	渋谷 典昭（武田 慎次）	委員	政策経営部 企画課長	川畑 青史		政策経営部 施設課長	廣井 誠一郎（久留宮 具 良）		街づくり推進部 都市計画課長	廣井 誠一郎（大木 進）		街づくり推進部 道路公園課長	渡邊 進		環境保全部 環境課長	宮川 修		（環境対策課長）	榎本 欣三		教育委員会事務局生涯学習推進課長	小池 眞喜夫（由井 敏 参）	事務局	街づくり推進部 街づくり調整課長	菅原 三彌（廣井 誠一郎）
委員長	芝浦工業大学教授	守田 優																																																																																
副委員長	新日本監査法人（株）三和総合研究所 副主任研究員	水登 朱美																																																																																
アドバイザー	東京大学教授	虫明 功臣																																																																																
委員	公募区民	田中 耕治																																																																																
	公募区民	山下 倫範																																																																																
	公募区民	瀬川 浩司																																																																																
	公募区民	樋口 武																																																																																
	環境カウンセラー	山田 愛美																																																																																
	東京都都市計画局総合計画部都市整備室 水資源・建設副産物担当課長	霜田 宜久																																																																																
	東京都建設局河川部計画課長	高橋 紀男（高橋 康夫）																																																																																
	東京都下水道局計画調整部計画課長	黒住 光浩（小川 健一）																																																																																
	港区立港南中学校長	永井 洋子																																																																																
	港区助役	永尾 昇																																																																																
	港区街づくり推進部長	大木 進（本村 千代三）																																																																																
	港区環境保全部長	渋谷 典昭（武田 慎次）																																																																																
事務局	港区街づくり推進部街づくり調整課長	菅原 三彌（廣井 誠一郎）																																																																																
委員長	助 役	永尾 昇																																																																																
副委員長	街づくり推進部長	大木 進（本村 千代三）																																																																																
副委員長	環境保全部長	渋谷 典昭（武田 慎次）																																																																																
委員	政策経営部 企画課長	川畑 青史																																																																																
	政策経営部 施設課長	廣井 誠一郎（久留宮 具 良）																																																																																
	街づくり推進部 都市計画課長	廣井 誠一郎（大木 進）																																																																																
	街づくり推進部 道路公園課長	渡邊 進																																																																																
	環境保全部 環境課長	宮川 修																																																																																
	（環境対策課長）	榎本 欣三																																																																																
	教育委員会事務局生涯学習推進課長	小池 眞喜夫（由井 敏 参）																																																																																
事務局	街づくり推進部 街づくり調整課長	菅原 三彌（廣井 誠一郎）																																																																																

策定の背景、目的

①背景

港区では、これまでまちづくりや建築計画、環境保全、緑化、防災など各所管毎に進めてきた“水に関する諸施策”を水循環系の観点からとらえなおして体系化してきた。

そして、東京都水循環マスタープランの基本理念や基本方針との整合を取りつつ、港区の地域特性を生かした具体的な施策を総合的かつ効率的に推進するため、「港区水循環マスタープラン」を策定した。

②計画の基本理念・目標

自然の水循環系、人工の水循環系、区民の生活が調和した望ましい水循環系の形成に向けて、区民・事業者・行政が一体となって取り組む道すじを総合的活体系的に示すものである。

基本理念「みず・ひと・まちが織りなすうるおい空間 みなと」

みず：雨、川・運河・海、地下水、生活用水

ひと：港区民（生活者）、港区で働き・学び・遊ぶ人々

まち：住居：暮らし、商業・業務、歴史・文化

③計画期間

おおむね2015年（平成27年）を目標とする。

現況把握 流域（行政区域）の現況

水収支図

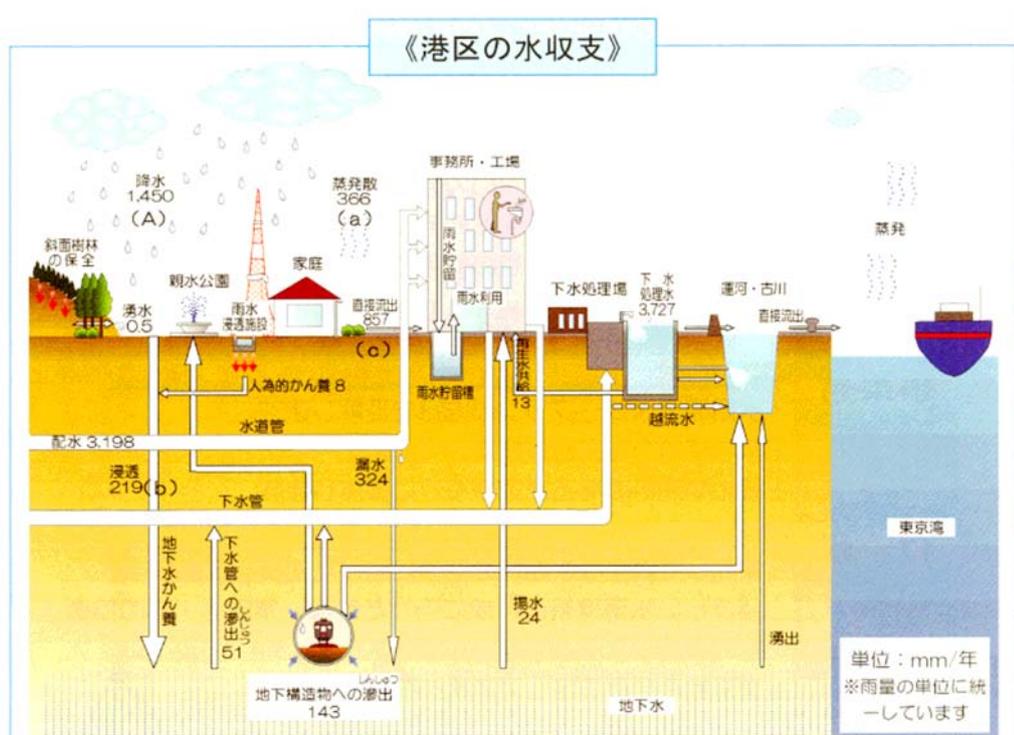


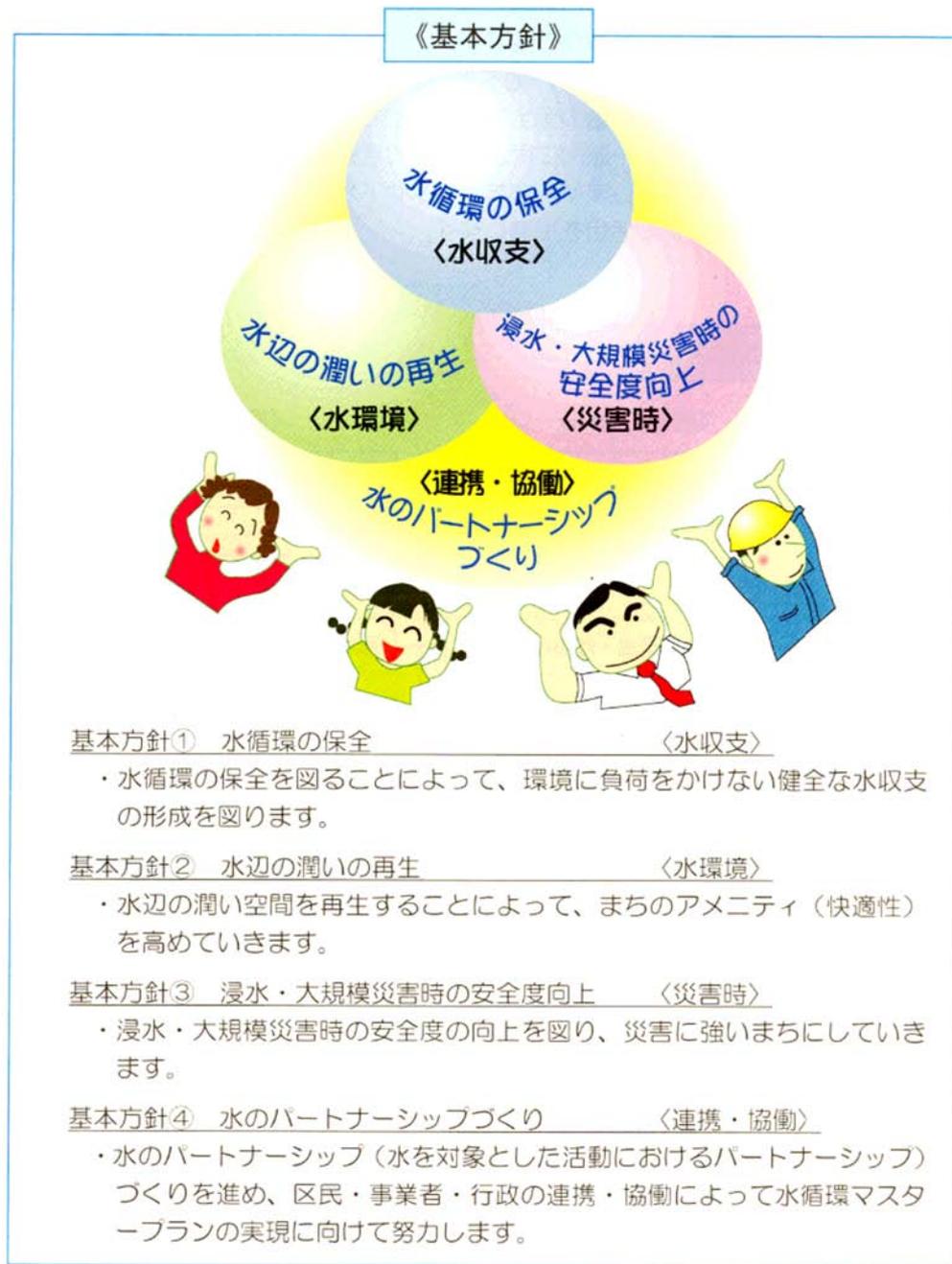
図2-1 港区の水収支

- (A) 降雨 1,450mm → (a) 大気中に蒸発散 366mm (約 25%)
- (b) 地下に浸透 219mm (約 15%)
- (c) 河川や海への流出 857mm (約 60%)

※アルファベットは図に対応。

<p>課題</p>	<p>①水環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水収支のバランス 地下への浸透が低く、下水道管等への流出が多いなど、都市化が進行し、都市型水害発生の要因となっている。</li> <li>・潤いのある水の軸（古川・運河）の形成 古川は、水質が悪化し、平常時の水量が少なく、かつ周辺の地盤高よりも低い位置を流れており、人々が水辺に親しむことが困難となっている。</li> <li>・豊かな緑の軸（斜面緑地・湧水）の保全 都市化の進展により斜面緑地が減少し、地下水の流れが変わることなどにより、湧水の現象、枯渇が見られる。</li> <li>・水文化の保存・継承 かつての生活に密着した水辺の記録を後世に伝えていくために、現存する資料や情報を記録・保存し、継承していく必要がある。</li> </ul> <p>②都市生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害に対する安全度の向上 都市化が進み、集中豪雨時には大量の雨水が古川や下水道施設に急激に流れ込むことによる都市型水害が発生しやすくなっている。</li> <li>・大規模災害時の水及び避難場所の確保 防火水槽・給水拠点の整備、河川や運河を防災船着場や緊急物資の受け渡しの場として活用したり、消防水利等の水源として利用することが望まれる。</li> <li>・水に対する意識の向上 港区は水資源に恵まれているにも関わらず、住民の関心が低い。</li> </ul>
<p>対策の方針</p>	<p>対策の基本方針</p> <p>『港区は、東京湾や運河、古川、湧水など、水資源に恵まれた環境にあります。しかしながら、都市化により高度に開発が進み、水辺を中心とした潤いのある自然環境や水辺を生活の場とした水文化歴史的景観が失われつつあります。</p> <p>利便性・安全性を高めるための整備が、一方で古川を排水路のように変え、湧水を減少させ、さらには都市型水害の一因になってしまったのです。</p> <p>こうした問題の解決に当たっては、国や東京都と連携した河川、水道、下水道等の個別の対策だけでなく、区民・事業者・行政が一体となって“望ましい水循環系の形成”に向けた取り組みを進めることが必要です。</p> <p>港区水循環マスタープランは、こうした背景を踏まえ、望ましい水循環系の形成に向けた基本理念「みず・ひと・まちが織りなすうるおい空間 みなど」のもと、4つの基本方針を掲げ、2015年を目標としてそれぞれの基本方針に基づく施策を推進していくものとします。』</p>

対策の  
方針



具体的対策の概要

① 具体的対策の概要

1) 水環境の保全

- ・ 港区みどりを守る条例の充実
- ・ 滲出水の有効利用
- ・ 湧き水の集水域への雨水浸透施設の重点設備
- ・ 公共施設の屋上緑化
- ・ 再開発地区を対象とした広域循環の推進
- ・ 集合住宅、オフィスビルにおける雨水利用施設設置の推進

	<p><b>2) 水辺の潤いの再生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運河、海辺沿いへの緑地遊歩道の整備</li> <li>・ 沿川の公園・緑地を活用した緩傾斜護岸整備による親水化</li> <li>・ 公園への親水空間の整備</li> <li>・ 木炭などによる水質浄化の推進</li> <li>・ 合流式下水道の改善対策の推進</li> <li>・ 建築物、擁壁等への壁面緑化の推進</li> <li>・ 運河沿い緑地のネットワーク化</li> <li>・ 水辺の生物の回復と水質浄化の推進</li> <li>・ 雨水等を利用した学校ビオトープの整備</li> <li>・ 湧水地の周辺環境整備</li> <li>・ 水に関わる文化の案内標識の設置</li> </ul> <p><b>3) 浸水・大規模災害時の安全度向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古川上流部の渋谷区との連携による治水・環境対策の推進</li> <li>・ 下水道の雨水対策の推進</li> <li>・ 道路舗装（車道部）、道路附属施設の透水性化</li> <li>・ ハザードマップ・広報資料の作成</li> <li>・ 公園への非常対策用井戸の設置</li> <li>・ 公園への貯水槽整備</li> <li>・ 防災船着場の整備</li> </ul> <p><b>4) 水のパートナーシップづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道漏水率の低減、節水による水需要の削減</li> <li>・ 「港区の水を考える推進協議会（仮称）」の設置</li> <li>・ 地域のコミュニケーションの場としての洗い場の復元</li> <li>・ 里親制度による古川運河の緑化の推進</li> </ul> <p><b>②関係主体の連携（推進体制）</b></p> <p>推進体制：港区の水を考える推進協議会（仮称）          参加主体：区民・事業者・行政</p> <p>推進体制：渋谷川・古川流域連絡会          参加主体：東京都・周辺区等関連行政機関</p>
<p>策定時の 住民の関 わり</p>	<p><b>①住民アンケート</b></p> <p>区政モニターアンケートを実施し、住民の水に関する意識を調査している。</p> <p><b>②委員会への参加</b></p> <p>水循環マスタープラン策定検討委員会の委員として、4人の公募区民が参加している。</p>